

第4章

「あいち計画」の中間評価

1 各指標のベースライン値と直近値との比較

「あいち計画」の中間評価を行うに当たり、「人口動態統計」や「生活習慣関連調査」などによる各指標についてベースライン値と直近値との比較を行いました。

各指標の推進状況の判定に当たっては、表1の基準により行い、その各分野別の判定区分の状況は図1、各取組主体別の判定区分の結果は図2のとおりでした。

「分野別」及び「取組主体別」の状況は次のとおりですが、全体的な各指標の状況は、「A(計画どおり又はそれ以上に進んでいるもの)」は 29.3%、「B(計画どおりではないがベースライン値よりも改善しているもの)」は 37.4%及び「C(ベースライン値と同じか悪化しているもの)」は 26.6%であり、全体としては改善されつつある状態となっています。

【 分 野 別 】 【()=平成12年度策定時におけるベースライン値】

① 栄養・食生活

- 11指標で改善、10指標で悪化しており、あまり改善が進まなかった分野であると言えます。
 - ・20～60歳代男性の肥満者が24.2(22.0)%、20歳代女性のやせの者が27.9(21.6)%であり共に悪化傾向です。
 - ・野菜の摂取量が1日 235(292)gであり減少しています。

② 身体活動・運動

- 14指標で改善、3指標で悪化ということで、改善が進んだ分野であると言えます。
 - ・日常生活における1日の歩行が、男性7,856(7,721)歩、女性が6,599(8,421)歩であり、女性の歩数が減少しています。

③ 休養・こころの健康づくり

- 5指標で改善、7指標で悪化ということで、改善されなかった分野であると言えます。
 - ・県内の自殺者数が1,432(1,474)人であり、やや減少していますが、高い水準で推移しています。趣味をもつ人の割合は、72.6(74.1)%で減少しています。

④ たばこ

- 分煙基準が変更されたため、8指標が判定保留となりましたが、12指標で改善、1指標で悪化と、改善が進んだ分野であると言えます。
 - ・16～19歳女性の喫煙率が、4.5(3.2)%であり増加しています。

⑤ アルコール

- 6指標で改善、3指標で悪化しており、改善が進んだ分野であると言えます。
 - ・16～19歳の飲酒している女性の割合が、13.4(5.0)%と増加しています。

⑥ 歯の健康

- 14指標で改善、3指標で悪化しており、改善が進んだ分野であると言えます。
 - ・集団のフッ化物洗口を実施している小学校が、204(2)校となり確実に増加しています。またむし歯のない幼児・児童が増加しています。

⑦ 糖尿病

- 8指標で改善、6指標で悪化しており、あまり改善が進まなかった分野であると言えます。
 - ・糖尿病有病者が、384,000(365,000)人、糖尿病腎症による新規透析導入者数が、655(451)人で確実に増加しています。

⑧ 循環器疾患

- 28指標で改善、8指標で悪化しており、改善が進んだ分野であると言えます。
 - ・人口10万対の心疾患の年齢調整死亡率は、64.9(74.5)、脳血管疾患の年齢調整死亡率は、48.8(66.0)で減少しています。

⑨ がん

25指標で改善、11指標で悪化しており、改善が進んだ分野であると言えます。

- ・ がん検診の受診率は、胃がん19.0(16.7)%,子宮がん15.3(13.0)%,乳がん16.2(14.5)%,肺がん37.4(33.2)%,大腸がん28.1(23.1)%と高くなっています。

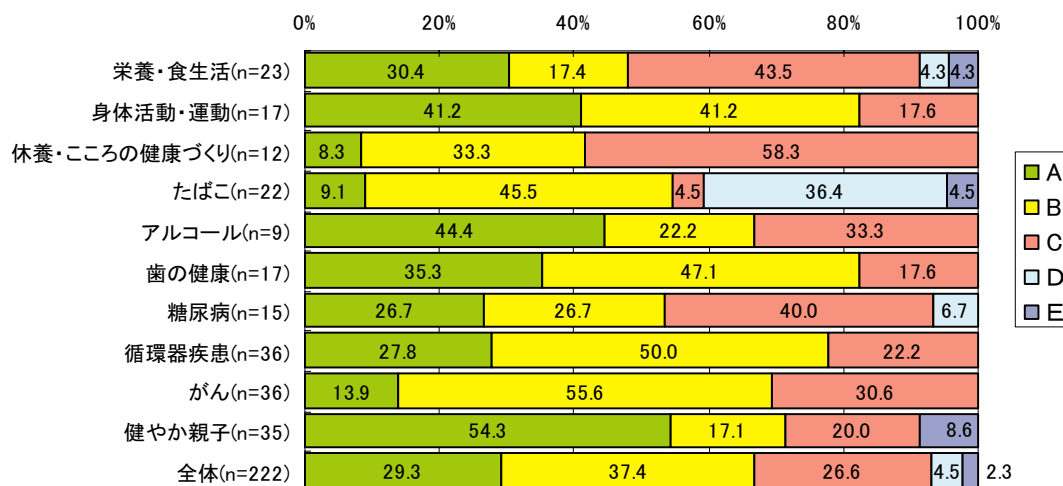
⑩ 健やか親子

25指標で改善、7指標で悪化しており、改善が進んだ分野であると言えます。

- ・ 乳児のSIDS死亡率は、22.7(32.7)人〔人口10万対〕であり減少しています。
- ・ 妊娠中の喫煙率は、4.9(5.8)%で減少しています。

(表1)判定区分と判定基準

判定区分	判定基準
A	直近値が当該年(度)の目標値を達成している
B	直近値がベースライン値より改善している
C	直近値がベースライン値と同じか悪化している
D	基準の変更により判定ができない
E	策定時にデータがないかベースライン値以降の新たなデータがない



(図1)各分野別判定区分の状況

【 取組主体別 】

① 健康指標

Aが41.8%、Cが34.5%となっており、指標によって順調に進んでいるものと、反対に後退しているものと両極端になっています。

② 行動指標

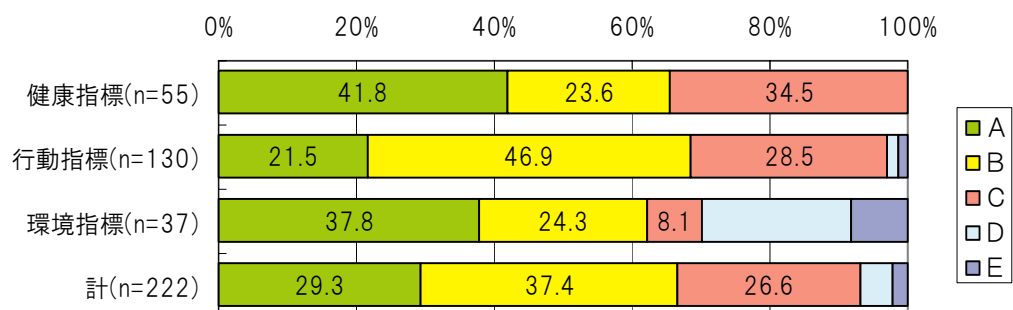
Bが半数近くと多い傾向にあり、AやCが比較的少ない、という結果は、県民の「あいち計画」の認知度は低い、社会全体の健康志向が高い傾向にあるということが考えられます。

③ 環境指標

Aが37.8%と最も多くなっています。Aが多いという結果は、行政や関係団体による取組が概ね計画どおり進んだものと考えられます。

(表2)指標の取組主体区分

健康指標	取組の結得られる目指すべき健康・保健水準の指標
行動指標	県民自ら取り組む指標
環境指標	行政機関、医療保険者、保健医療機関、教育関係者、マスメディア、企業、ボランティア団体等の健康に関わる様々な関係者が県民の健康づくりを支援する取組指標



(図2)各取組主体別判定区分の状況

2 国が示した手法による「あいち計画」の評価

「あいち計画」の中間評価を行うに当たり、国の示した「都道府県評価表」(健康日本21評価手法検討試行実施作業部会において、都道府県計画を自己評価するために作成した調査表)により自己評価を行ったところ、表3のとおりでした。

事業の実施に当たっての優先順位・目標と事業との関係の明確化や地域の関係団体、企業、ボランティアグループとの連携について不十分であります、その他は概ね良好でした。

都道府県調査表を利用した「あいち計画」の評価 (表3)

評価内容		評価	評価の理由
策定組織の設置	1 策定組織には、必要な関係者が含まれていましたか。	1 2 3 4 	健康づくりを推進する関係機関・団体等の参加があったが県民の意見はパブリックコメントのみであったため。
	2 策定組織は、検討や議論等を活発に行いましたか。	1 2 3 4 	ワーキング調整会議で検討事項の整理を行ったため、4回の部会開催でほぼ十分な検討ができた。
現状把握及びニーズの把握	3 地域の健康課題は明確に把握されていますか。	1 2 3 4 	既存のデータで把握できないものについては、県独自で実施し、必要なデータの収集ができた。
	4 住民のニーズは十分に把握されていますか。	1 2 3 4 	保健所が市町村の支援を行う場等を通じてある程度県民のニーズを把握しているが、十分とは言えないため。
的、との関係者	5 計画の策定過程での議論を住民や関係者に公開していましたか。	いいえ 3 はい	市町村や関係機関に案を示すとともに、住民に対してはパブリックコメントを実施したため。
目標	6 地方計画の目標設定は、独自性のあるものになっていますか。	いいえ 3 はい	「健やか親子」の分野を除く89目標項目のうち、独自の項目として29項目設定したため。

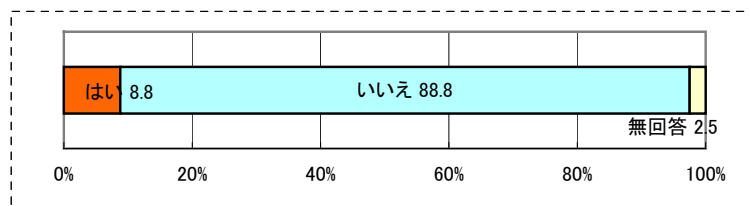
評価内容		評価	評価の理由
目標と事業の関連	7	<p>目標を達成するための事業が明確になっていますか。</p> <p>1 <input checked="" type="checkbox"/>2 3 4</p> <p> ----- </p>	一部の目標項目については該当事業が明確となっているが、多くの目標項目については整理されていないため。
	8	<p>事業実施にあたり、優先順位を検討して実施していますか。</p> <p>1 <input checked="" type="checkbox"/>2 3 4</p> <p> ----- </p>	計画策定後、生活習慣病対策協議会で重点項目を決めたが、必ずしも事業実施にあたっての優先度としては十分でなかったため。
取組の具体的な	9	<p>地方計画の取り組み内容や役割が住民・関係者ごとに具体的に示されていますか。</p> <p>1 2 <input checked="" type="checkbox"/>3 4</p> <p> ----- </p>	「あいち計画」の特徴として、取組主体別に分類して可能な限り明確にしたため。
環境整備	10	<p>地方計画の各目標分野には、健康づくりを支援する環境整備について記載がありますか。</p> <p>1 2 <input checked="" type="checkbox"/>3 4</p> <p> ----- </p>	環境指標(行政や保健医療等の関係機関が健康づくりを支援する指標)として10分野のうち7分野において、関係機関の役割を記載したため。
地方計画の周知	11	<p>地方計画や実施状況を、わかりやすく住民に周知していますか。</p> <p>1 <input checked="" type="checkbox"/>2 3 4</p> <p> ----- </p>	計画の内容については、「あいち計画」の冊子、概要版、普及版さらにはホームページ、広報誌などで周知を図っているが、推進状況は同様の方法で周知していないため。
地方計画の活用状況	12	<p>地方計画は、他の事業の計画や予算編成に活用していますか。</p> <p>いいえ ・ <input checked="" type="checkbox"/>はい</p>	「あいち計画」の一部の指標を福祉ビジョンの指標としている。予算は栄養、歯、タバコ対策等に活用している。
住民や関係者への支援	13	<p>地方計画に基づく住民や関係者の活動を支援していますか。</p> <p>1 <input checked="" type="checkbox"/>2 3 4</p> <p> ----- </p>	各保健所が日常の活動の中で実施しているが、全体として十分できているという状況ではないものと考えられるため。
市町村への支援	14	<p>市町村の健康増進計画の策定や推進を支援していますか。</p> <p>1 2 3 <input checked="" type="checkbox"/>4</p> <p> ----- </p>	大部分の市町村で計画が策定済みで、策定や推進に関して保健所が必要な支援を行っており、また、未策定の市町村についても策定に向けた支援を行っているため。
地域健康資源の活用	15	<p>地域自主組織の活動状況(活動数、活動内容)について把握していますか。</p> <p>1 2 3 <input checked="" type="checkbox"/>4</p> <p> ----- </p>	市町村が把握している地域自主組織について、活動内容等を把握しているため。
取り組みの基盤整備	16	<p>地方計画を推進するための体制を整備していますか。(分野別の専門部会の設置など)</p> <p>1 2 <input checked="" type="checkbox"/>3 4</p> <p> ----- </p>	平成16年度から推進検討委員会において検討している。また、がん・糖尿病・循環器疾患・歯については既存の専門部会を活用しているため。
進行管理の組織	17	<p>進行管理組織を設置し、進捗状況について把握していますか。</p> <p>いいえ ・ <input checked="" type="checkbox"/>はい</p>	推進検討委員会において、進捗状況について把握しているため。
データ収集システムの構築	18	<p>評価指標について、データ収集の方法がありますか。</p> <p>いいえ ・ <input checked="" type="checkbox"/>はい</p>	既存の資料や他機関等への照会、一部は県民へのアンケート調査を実施して、データの収集を行っているため。
見直しの目標	19	<p>目標や評価指標について、見直しを行っていますか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>いいえ ・ はい</p>	見直しについては、平成17年度の間評価時点において行うこととしており、これまでは見直しを行っていないため。
事業の評価	20	<p>目標に基づいて、事業の評価を行っていますか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>いいえ ・ はい</p>	評価については、平成17年度に中間評価を行うこととしており、これまでは評価をしていないため。

評価内容		評 価	評価の理由	
直 事 し 業 の 見	21	新規事業の開始だけでなく、既存事業の見直しを行っていますか。	いいえ ・ はい	既存事業については、内容の後退がないように配慮しながら見直しを行っているため。
り 向 組 環 み 境 の 整 取 備 に	22	食環境や運動環境の整備など、健康づくりを支援する環境整備に取り組んでいますか。	1 2 3 4 -----	多くの「環境指標」が改善されているため。
連 部 携 局 の 間 の	23	関係部局との連絡、調整が円滑に図れていますか。	1 2 3 4 -----	推進検討委員会等により、調整を図っているため。
と 関 の 係 連 携 団 体	24	関係機関・団体等との連携が円滑に図れていますか。	1 2 3 4 -----	職域保健との連携は、十分ではないため。
連 企 携 業 の と の	25	企業との連携が円滑に図れていますか。	1 2 3 4 -----	地域により異なるが、全体としては連携があまり進んでいないため。
と 住 の 民 連 携 組 織	26	住民組織、ボランティア、NPO等との連携が円滑に図れていますか。	1 2 3 4 -----	協働が図られている団体もあるが、全体としてはあまり連携が図られていないため。
識 住 変 民 化 の 意	27	住民(住民組織を含む)の健康づくりに対する意識の変化がありましたか。	1 2 3 4 -----	多くの「行動指標」が改善されているため。

3 「あいち計画」の認知度

中間評価の実施のために県民に対して無作為抽出で行った「平成16年生活習慣関連調査」によれば、この計画の認知度は8.8%でした。

○ 『問1 あなたは、「健康日本21あいち計画」を聞いたことがありますか。』 (図3)



4 まとめ

各指標のベースライン値と直近値との比較においては、「身体活動・運動」や「歯の健康」などの分野が比較的順調に改善されていますが、「休養・こころの健康づくり」は改善されていません。

また、国が示した手法による「あいち計画」の評価においては、事業の優先度の明確化や関係団体との連携、さらには県民に対する周知という点では不十分でしたが、その他は概ね良好でした。そこで、あいち計画の中間年度における全体的な評価を一言でまとめると次のようになります。

「改善されつつある状態であるが、目標に向かってさらに努力が必要」